



A Contemporary
Jazz Guitar Approach

Lage Lund

By Yoshiaki Nagai

はじめに

この度は本書【A Contemporary Jazz Guitar Approach】
をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

近代的なジャズの技術はめまぐるしい発展を日々繰り返しています。
本書はアーティストの実際の演奏をもとにそれを噛み砕きエクササイズ化し
て読者の皆様の演奏に取り入れていただけるように書き下ろしました。

本書のアイデアとエクササイズが皆様のお役に立てる事を願っています。

Oct 16, 2014

永井義朗

本書の使い方

1. まずは参考音源をじっくり聴いて雰囲気をつかむ

音の記憶は感覚に最も近づく事の出来る最も有効なアプローチです。

また、ご自身の好きだと思ふもの(他の物に流されないように)をとことん聴いてみ
ましょう。どんな物であれそれはあなたのベースメントを固める為にととても重要で
す。

2. 文章と音の理論を理解する

実際に演奏／練習に移る前にしっかりとレッスン項目の方向性／意味を理解しましよ
う。自分が一体何の為に練習をしているのか?などと言った疑問をもたないように
必ず目的をはっきりとさせて取り組みましょう。

3. 譜例やエクササイズはある程度のテンポで演奏が可能になるように練習する

実際の演奏にアイデアを活かす為にはこれでもかと言わんばかりに練習を繰り返しましよ
う。少なくともBPM120以上での再現が可能なくらいまで練習する事をお勧めいたしま
す。

参考音源

- Lage lund / Small Club, Big City

Lage Lund TrioによるLive音源。

彼の演奏を理解する上では大変お勧めのアルバムです。

- OWL Trio / The OWL Trio

Guitar, Alto Sax, BassのTrio音源。

Lage Lundのギターを様々な角度から堪能できる1枚です。

この変則的なフォーマットでの演奏は他の番では聴くことのできない特殊なサウンドを構築しています。オススメの音源です。

1. カウンターポイント

The image shows a musical exercise for guitar counterpoint. The top staff is a treble clef with a key signature of two flats (Bb, Eb) and a common time signature (C). It shows a melodic line with a dotted quarter note, an eighth note, a quarter note, and a half note. A triplet of eighth notes is marked with a '3' and a bracket. A 'let ring' instruction is shown with a dashed line. The bottom staff is a guitar tablature with strings T, A, and B labeled. It shows fret numbers: 11, 10, 11-8-10, (10), 8, (8)-10-8-7. Triplet markings are present under the 11-8-10 and (8)-10-8-7 sequences.

Lage Lundが使用するカウンターポイントとしては以下の例が最もポピュラーな物ではないかと思います。

・ 1音を固定して、低い声部のみを動かしている

このカウンターポイントの動きは**オブリーク(斜進行)**と呼ばれているもので、近代の多くのギタリストが多用するカウンターポイントです。

・ 押弦する指の可能性

オブリーク(斜進行)を演奏するにあたって課題となるのが、指の可能性です。

1本の指が固定されている為、その他の指でメロディーを弾く事が必要になってきます。

上記の例では、**薬指で4弦10Fを押弦したまま、人差し指と中指で5弦のメロディーを奏でると**

いいでしょう。

それでは次のページのエクササイズを用いて**オブリーク(斜進行)**のカウンターポイントの動きを練習をしていきましょう。